

備後

教区報

第134号

bingo kyokuhu

CONTENTS

- ◇ 基幹運動基本計画後期スタート
- ◇ 同朋三者懇最新情報
- ◇ 視点―過疎、過密を考える
- ◇ 連載「情報技術の普及と
宗教への影響」
- ◇ 坊守探訪 沼隈南組 南禅坊
- ◇ NEWS & 活動情報
- ◇ 予報・インフォメーション

習志野布教所照光寺

**浄土真宗の関係者として
ブログを始める10のところがけ**



基幹運動総合基本計画(後期)スタート

「ともにいのち かがやく世界へ」をスローガンにスタートした基幹運動総合基本計画は、今年度から2011年度まで後期となる。後期の計画書に新たに盛り込まれたのは、「宗制」が改正され、新たに「浄土真宗の教章(私の歩む道)」が制定されたこと。また、重点項目には世界各地でおこる貧困の問題、自殺(自殺)の問題への取り組み、あと、「全寺院』『子どもをつどい』キッズサンガの取り組み」等である。

組においては「第V期 同朋運動推進僧侶研修会」「門信徒会運動研修協議会」の実施をお願いしている。

昨年度をもって教区基幹運動推進委員会をはじめ、それに所掌される専門委員会、一部の各種団体並びに教化団体役職者が任期満了となり、それに伴う改選が行われた。このたびは特例として



通常の2会計年度から3会計年度と延長され、大遠忌法要を迎えた新たな体制でスタートする。また、新たに教区基幹運動推進委員会の組織が改編された。大きな変更点としてこれまでの4部会制「第1部会(平和環境生命倫理課題担当) 第2部会(男女共同参画、社会、人権課題担当) 第3部会(僧侶と門信徒の共同参画、連研、組織教化課題担当) 第4部会(伝道、広報、寺院活性化、人材育成課題担当)」から3部会制(図参照)になったことだ。部会数を縮小し各種事業を集約することによって内容に力点がおかれ、そこから更なる充実化を図る計画である。詳細については、今後発刊予定の基幹運動計画書を参照してほしい。

ある。詳細については、今後発刊予定の基幹運動計画書を参照してほしい。

人事を刷新し3部会で

○基幹運動推進常任委員会

「敬称略、順不同」(所属組、寺院名)

会長 宮川宏生 教務所長 副会長 佐々木至成 (鴨川北組照専寺)、田坂英俊 (芦田組慶照寺) ▽常任委員 高橋了融 (備中里組地福寺)、佐藤秀圓 (鴨川北組宝泉寺)、小武正教 (三次組西善寺)、武田哲也 (芦田組光秀寺)、毛利慶典 (世羅組光永寺)、小島照行 (御調西組法泉寺)、赤柴証悟 (沼隈西組西明寺)、藤本直樹 (奥組増福寺)、桜田淑子 (沼隈西組浄泉坊)、杉原顕正 (中組辻之坊)、高山秀基 (沼隈南組福泉坊)、西家昭二 (奥組浄福寺)

三浦義純 (御調東組最円寺)

○門信徒部会 部長 小島照行 (御調西組法泉寺) ▽副部长 赤柴証悟 (沼隈西組西明寺)、藤井義英 (比婆組西教寺) ▽幹事 藤本直樹 (奥組増福寺)、桜田淑子 (沼隈西組浄泉坊) ▽委員 田口竹子 (備中里組正専寺)、藤間幹夫 (深津組光明寺)、福岡恵真 (深津組真福寺)、小林朋行 (鴨川組浄光寺)、杉原秀晃 (神石組金蔵寺)、法宗正勝 (三谿組明玄寺)、安藤勝章 (三次組浄念寺)、安部恵証 (三次組善照寺)、藤井迎朋 (御調西組専光寺)、脇本寿真 (世羅組照光寺)

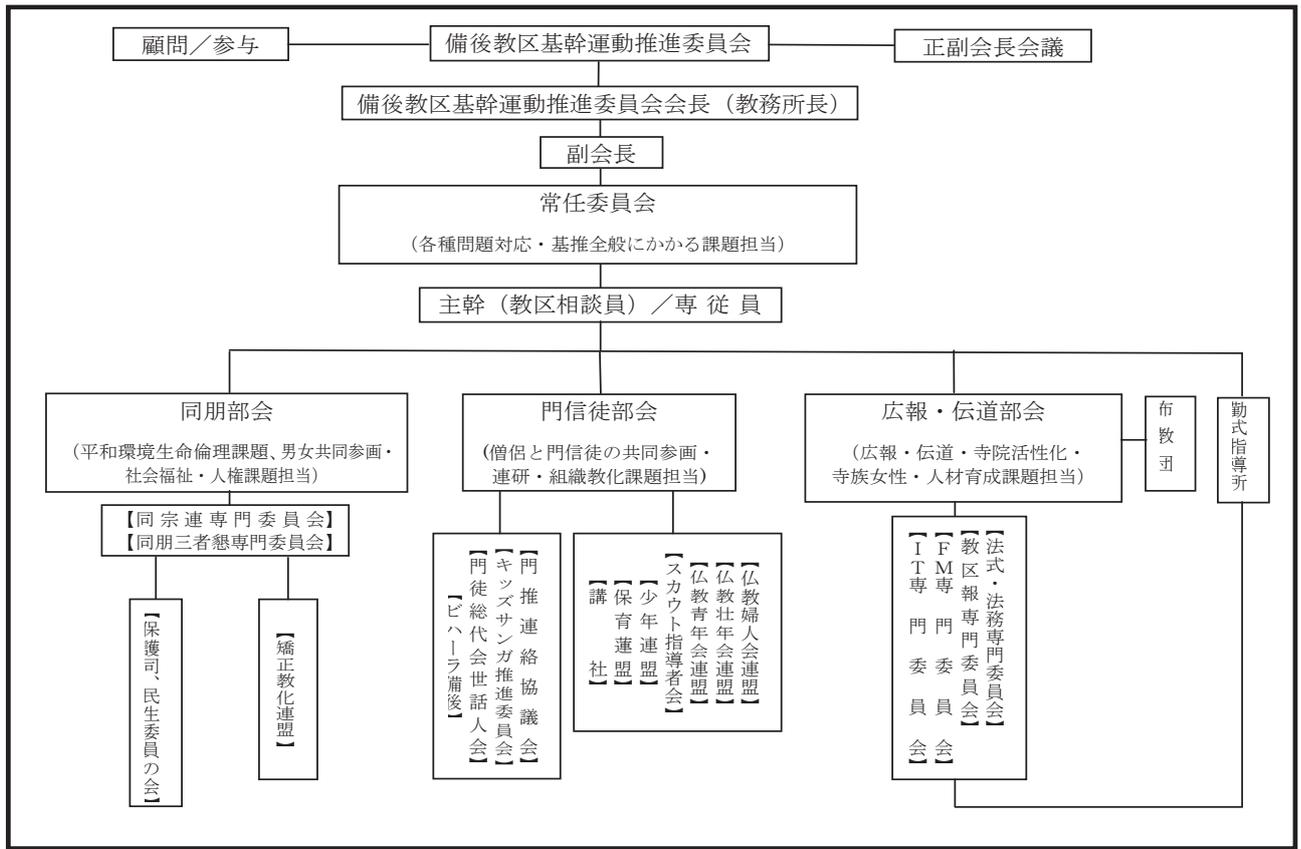
○広報・伝道部会 部長 杉原顕正 (中組辻之坊) ▽副部长 高山秀基 (沼隈南組福泉坊)、栗原一乘 (世羅組浄楽寺) 委員 奥村容子 (備中里組大円寺)、西家昭二 (奥組浄福寺)、平山智正 (深津組光円寺)、松井一昭 (深津組慶満寺)、三條義見 (鴨川北組円福寺)、河村祐昭 (沼隈西組万福寺)、田坂英俊 (芦田組慶照寺)、一條照代 (三谿組立泉寺)、久本晃道 (御調東組照源寺)

○同宗連専門委員会 佐々木龍生 (備中里組専教寺)、佐藤彰雄 (中組光栄寺)、

○同朋部会 部長 高橋了融 (備中里組地福寺) ▽副部长 佐藤秀圓 (鴨川北組宝泉寺)、小武正教 (三次組西善寺) ▽幹事 武田哲也 (芦田組光秀寺)、毛利慶典 (世羅組光永寺) ▽委員 佐藤彰雄 (中組光栄寺)、後谷唯史 (中組徳善寺)、龍華直 (鴨川組靈巖寺)、竹政信至 (鴨川組正覚寺)、佐々木至成 (鴨川北組照専寺)、松林英水 (沼隈西組萬福寺)、天地秀顕 (沼隈南組光林寺)、山名孝彰 (芦田組西福寺)、柏原真知江 (神石組泉正寺)、江村良治 (神石組光徳寺)、不二川公哉 (三谿組明覚寺)、栗原尚道 (比婆組西念寺)、中山忠昭 (比婆組西念寺)、

○同宗連専門委員会 佐々木龍生 (備中里組専教寺)、佐藤彰雄 (中組光栄寺)、

<備後教区基幹運動推進委員会事務組織図表>



- 那須照嗣(奥組教蓮寺)、原田淳誠(深津組専明寺)、松井一昭(深津組慶満寺)、季平恵海(鴨川組福泉坊)、吉岡隆義(鴨川北組光明寺)、岡部徳雄(沼隈西組福照坊)、高山秀基(沼隈南組福泉坊)、武田哲也(芦田組光秀寺)、杉原秀晃(神石組金蔵寺)、加藤哲真(三谿組法専寺)、栗原尚道(比婆組西念寺)、小武正教(三次組西善寺)、坂原英見(三次組東光坊)、箱田正文(御調東組光林寺)、田坂潤(御調西組順勝寺)、毛利慶典(世羅組光永寺)、真教寺春窓(世羅組光源坊)
- 同朋三者懇話会専門委員会 津田明雅(備中里組浄心寺)、後谷唯史(中組徳善寺)、大塚裕玄(奥組泉瀧寺)、福岡恵真(深津組真福寺)、季平恵海(鴨川組福泉坊)、佐藤秀圓(鴨川北組宝泉寺)、渡辺浩之(鴨川北組正明寺)、岡部徳雄(沼隈西組福照坊)、高山秀基(沼隈南組福泉坊)、田坂英俊(芦田組慶照寺)、山名孝彰(芦田組西福寺)、杉原秀晃(神石組金蔵寺)、澤井隆三(三谿組光澤寺)、栗原尚道(比婆組西念寺)、小武正教(三次組西善寺)、坂原英見(三次組東光坊)、箱田正文(御調東組光林寺)、田坂潤(御調西組順勝寺)、毛利慶典(世羅組光永寺)、毛利令就(世羅組法泉坊)
- 組勤式推進員 田井智彦(備中里組蓮乗寺)、佐藤知水(中組光荣寺)、山下瑞円(奥組浄福寺)、藤井明德(深津専光寺)、竹政信至(鴨川組正覚寺)、佐々木弘海(鴨川北組照専寺)、龍谷善一(沼隈西組善立寺)、箱田義信(沼隈南組西光寺)、金岡康隆(芦田組願成寺)、和泉裕生(神石組正光寺)、長谷川憲章(三谿組善徳寺)、渡邊真雄(比婆組光縁寺)、明山晃映(三次組照林坊)、大田垣聖円(御調東組福善寺)、沼隈純(御調西組正明寺)、米沢由季(世羅組西照寺)
- 仏教婦人会連盟役員 委員長 杉原静子(沼隈西組万福寺) 副委員長 三島当子(鴨川北組照専寺)、荻原道子(芦田組光円寺)、藤井和子(三次組浄念寺)、殿重敦子(世羅組法泉坊) 書記 藤井文子(深津組専光寺) 会計 河野幸枝(備中里組高連寺) 監査 入江光枝(神石組泉正寺)、上坂ハルカ(三谿組善徳寺) 役員 古米静子(奥組浄福寺)、佐藤泰子(沼隈南組西光寺)、片山由貴枝(比婆組西念寺)、中段正子(御調東組永正寺)、盛田由美子(御調西組梅林寺)

久々の「同朋三者懇情報」です。同朋三者懇が始まって、20年が経過しました。その間、『教区報』では、一番ホットな情報を、随時お届けしてまいりましたが、しばらくご無沙汰でした。同朋三者懇は、年3回のペースで行われていきます。『教区報』の発行に合わせて詳細をお知らせ致します。
(文責・同朋部会委員)

「同朋三者懇」最新情報

同朋三者懇の第63回が、

去る6月8日、福山市佐波町の人権センターにて開催されました。発表は安芸教区の担当で、「悪しき業論の歴史性」として、研究が報告されました。

発表内容

は、『仏説無量寿経』の「五悪段」から『観経疏』『唯信鈔』『口伝鈔』…と多岐にわたる各祖師による宿業理解の分析でした。特に、宿業を、「過去・現在・未来」という《時間軸》だけでなく、《空間的存在》として捉える試論がなされましたが、難解を極めるものと言わざるを得ませんでした。そんな中で、後退論とも受け止められる意見(一部落差別に関しては前世で語らない。現世に限定して

語るべきだ」と、事象を限定的に考える説)が出されましたが、三者懇の共通理解は、私の生まれる前の過去世の理解が、前世に犬であったとか、虫であったとかという、おとぎ話のような過去世ではなく、「人類の始源にまでさかのぼった歴史的、社会的集積」としての歴史性を、今、すべて抱えてここに存在している、というものです。いろんな意味で、20年の歳月を実感しました。

議論

の中で、『仏説無量寿経』の「五悪段」の扱いが問題になりました。差別解放に宗教的重心を置く時、伝統的な宗義安心の限界を克服する必要があり、親鸞聖人のご領解を、更に円熟させる必要性を訴えられました。

さらに

議論の末、三者懇の研究が、極めて具体的な形として確認できるのは、実際にこれらの研究を踏襲した法話を披露することではないか、という意見が出され、実際に法話を行うことに到りました。三者各団体から1〜2名選考し、法話を行ないます。まずは解放同盟からということとなり、岡田委員がトップバッターに選任されました。10月5日、午後より、広島別院にて開催。

「同朋三者懇話会」とは?



同朋三者懇話会とは、87年の過去帳差別記載より始まった研究会です。同朋教団を標榜する我々浄土真宗に、なぜこのような、ご法義に背反する差別事件が起きるのか。なぜ間

違いに気付くことができなかつたのか。気付いていても、長い年月間違いを宣言できなかったのか。指摘されてなお、本来化に向けて突進できないのか…。

原因の一つに、ご法義の頂き方にありました。曲がって頂いて来た安心の領解から、本来の姿を取り戻す力が同朋運動です。安芸教区80名、備後教区80名、それに解放同盟80名、あるいはそれ以上の大集団で、「業・宿業」の本来化に取り組んで来たのが、「安芸・備後点検糾弾会」だったので。議論を重ねて行くことに、領解の違いが明らかになりました。「あなたの親鸞聖人と、私たちの親鸞聖人は随分違いますね」との指摘に、反論できるものは、誰一人として居ませんでした。

その後、安芸・備後・解放同盟の大集団の中から、それぞれ専門委員数名が代表として選任され「同朋三者懇」が誕生しました。よって、この「同朋三者懇」は、「点検糾弾会」が継続されている姿であるとご理解いただきたいと思います。



同朋部会 より【連続講座】のご案内

「同朋三者懇」最前線

～ 트렌ディー 同朋運動～

「業・宿業」の問題から、「浄土」、「本願」、そして「信心」の問題、「真俗二諦」まで、20年間の大集積を、いっきに解説！ どうぞ期待！(*^^)v

同朋三者懇に
育てられて

同朋

三者懇とかいうの、何？とか「同朋運動って何だかよく解らないんですけど」という疑問をお持ちの方、必見です。

今回

、「同朋運動の現在」について考

える研修会を開催することになりました。ちよっとばかりだけでなく、『いまさら聞けない同朋運動の最前線』、『誰か私に分かるように説明してよ』をテーマに、最新情報をお届け致します。

皆様

と一緒に考えることから始めて

行きたいと思えます。そして、「あなたの同朋運動」実践することへ、ステップアップして下されば、企画した者たちにとりまして、この上ない幸せです。

全3回開催【同朋三者懇の大約と解説】



PM 1:30	開会式、全3回のオリエンテーション
PM 2:00	講義1《三者懇の大約》～同朋三者懇で問題になったこと～ 備後・安芸・解放同盟の見解（その共通点と相違点）
PM 3:00	講義2《三者懇の解説》～現在の共通理解のようなもの 今後の展望と課題（学ぶことは変わること）
PM 3:50	閉会式



会場：本願寺備後会館 [福山市東町 2-4-5 ☎ 084-924-5759]

◆ 第1回 8月20日(木) PM 1:30 ~ 4:00

～ぶっちゃけ、「業」とか「宿業」って「前世の私の行ない」ではないの？
最近「業」とか「宿業」って言わないよね。…言っちゃいけないの？

◆ 第2回 9月8日(火) PM 1:30 ~ 4:00

～「本願」…阿弥陀如来の願いてしょ？何より先ずはご信心が一番。
え？信心の社会性？如来さまから賜ったご信心でしょ？

◆ 第3回 9月24日(木) PM 1:30 ~ 4:00

～「お浄土」をどう語っていますか？私が往くところ？迎えとられていくところ？はたらきの世界？うーん……

視点

VOL 〈7〉



習志野布教所照光寺
脇本正範住職

過疎、過密を考える

解散寺院のご本尊が開教地へ遷座

「引きこもりの時、親鸞に出会い僧侶になる」―『エチカの鏡』（フジテレビ系列放送）の番組コーナーシャルの言葉に、振り返ると今号の取材対象の脇本正範住職（習志野布教所照光寺）が映っていた。昨年、寺院解散手続きをとった三原市大和町覚善寺（安芸教区賀茂東組）の御本尊が、習志野布教所へ迎えられた。その遷座法要を取材しようとしていた矢先の放送であった。教団は振興計画に新規教線の開拓（新たな百万人門徒の誕生）を掲げている。今回の照光寺遷座法要、テレビ放送を通して、本願寺教団の根本である「伝道」のあり方を模索してみた。（文責・教区報専門委）



▲ 遷座された御本尊（手前）徳正寺内陣にて

解散寺院がよみがえる

総務省の発表（2007年10月1日現在）によると、東京都の全人口に対する比率が10%を超え、東名阪の3大都市圏合計の人口が全国に占める割合も50・6%と過去最高に達した。どの分野においても過疎の問題は深刻である。NHK特集で「寺が消える」が放送され反響を呼んだのは21年前であった。インターネットで見るとこのビデオ（VHS）がNHKエントラプライズから販売され、内容の説明が次のように書かれてある。「島根県の山間部に荒れ寺や住職のいない寺が増え続け、村の核となる寺の火を消そうとしている。寺、村人、住職を通して故郷崩壊の現状を描く。（中略）寺を何とか存続させたいと、奔走する寺の住職たちの姿を通して、過疎地の現状を描く」（転載）

過疎の問題はここ20年そこらで起こったのではなく、戦後高度経済成長の裏で進んできた。昨年、解散手続きを取った覚善寺の地域も過疎化が進んでいる。住職夫妻は病気となり、後継者はいらぬが寺を継がないということ、解

散に至った。一方過密となつていく都市部には真宗寺院が少なく都市部に流れていくご門徒を繋ぎ留めることが出来なかつた。その間、教団は現状は受け止めても教団を挙げての対策を打つことができなかったが、この度の親鸞聖人750回大遠忌法要の振興計画に「百万門徒の誕生」を掲げた。

“偽りの私”を感じて

脇本正範住職（以下脇本住職）は都市開教専従員となり、習志野布教所照光寺を開いた。脇本住職は世羅組照光寺の脇本寿真住職の従兄にあたる。「何故、僧侶になり都市開教を目指したのですか」と尋ねると

「弟と散歩していた時、狭い道の向こうから自動車が走ってきて、けたたましくクラクションを鳴らしました。私は運転手に対し我を忘れて激怒し怒鳴っていました。それ以来皆から好かれていた私が偽りのものであると感じました。唯一、寿真住職やお寺に集う人の輪が心の安らぎでした。最初、父は私が僧侶になることに反対でしたが、今では応援してくれます。中央仏

教学院で学んでいた時、首都圏での開教の大切さを学び都市開教専従員になりました」と答えてくれた。

しかし、都市開教の現実は厳しい。何とか、住宅を借りて二部屋を開放し本堂としたが仏具を揃えるのも大変。幸い前卓等も覚善寺より譲り受けることが出来た。しかし、月1回の法座もお参りに来て下さる人はいつもゼロ。近辺の宗教事情は、新興宗教が多い。あとは、仏教系では真言宗と日蓮宗が9割以上。なかなか思い通りにはいかない。

都市開教と過疎問題の共通性

そんな脇本住職に御本尊をお迎えすることは大きな力となった。覚善寺の御本尊は解散後、隣寺であり組長をされている安芸教区賀茂東組徳正寺(徳正尊丸住職)の法物として手続きが取られていた。6月3日、徳正寺にて遷座法要が勤修された。法要が終わり御本尊は木仏点検を受けるため本山へと向かった。有縁の方々は京都に向かうバスに合掌をし最後の別れを告げた。参拝者の一人は涙しながら「長年お育て頂いた阿弥陀



▲ 解散となった覚善寺本堂



▲ 徳正寺本堂



◆ 徳正寺での遷座法要



もっと都市部と故郷のつながりを大切に

様と別れることはとても寂しいです。しかし、新しい地で念仏者を育ててくださるのだと思うと有難いことだと思えます」と語られた。多くの方の思いに脇本住職は「新しい家族が増えたようで、たのもしく感じております。また、門信徒の方々の涙する姿を忘れることができません。さみしさや無念なおこころが伝わってくるようでした。習志野市に在住の方々に、あのお姿を伝えていきたいと考えております。広島と千葉は離れていますが、必ず会えるのだから、再会した時に少しでも恥ずかしくないようにしたい」と答えた。

その言葉に都市開教と過疎の取

り組みは別問題ではないということと強く感じた。都市部に住んで多くの人は地方に故郷を持っている。故郷に帰って法事のご縁に会う。そこでは都市部では難しくなってきたり、家族や親せきのつながり、お寺とのつながりを通して浄土真宗の教えに出会う。そして住職や坊主に「父、母をよろしくお願いします」と頼み都市に帰って行かれることも少なくなっている。現在の伝道はどこかに諦め感があるように思う。「人がいないから」「人がこないから」「今は大人も子どもも忙しいから」「お寺に無関心だから」...と。

▼ 門信徒の方々と一緒に (徳正寺本堂前)



放映後、問い合わせ集中

決して無関心で悩みがないのではなく、悩みを聞いてもらえる場所がわからないようである。脇本住職を取り上げた『エチカの鏡』の放送終了後多くの相談や問い合わせがあった。問い合わせ内容を脇本住職に尋ねた。

“子どもが学校でいじめにあった以来、自室にひきこもっている。どうしたらよいか” “人生、生きていても何も楽しくないけれども何とかしなければいけないと思っている” “父親が病気になる、「死にたい、死にたい」と日常的に家族に訴えていた。そんな父に「死にたかったら死ねばいいじゃん」と言ったらと、その翌日、自死

してしまった。憎んでいた父と同じ病気(うつ病)になってしまい、今、嫁から同じことを言われている。病気になって初めて父の苦しみがわかり、毎日罪悪感にさいなまれていたところ、嫁から離婚を申し込まれた。その嫁が「死ぬなら離婚してから死んでくれ」と言う。僕は死にたいと思う。だけど、

向きあう伝道―説く仏教から聞く仏教へ

死ぬに死ねない” “会社の中でいじめられている” 等々。又、激励の電話もあった。

“今までお寺に行ったことはなかったが住職の話しを一度聞いてみたい” “お寺の力になりたいから、今度、あってほしい” 等々。これは巨大メディアのなせる技

かもしれない。しかし、過疎地域であれ過密地域であれ、ここにお寺が在るといふメッセージを発信し続けることは諦めてはいけないのではないかと思う。

『大乘』7月号に上田紀行東京工業大学准教授の記事が掲載されている。その中で「説く仏教から聞く仏教への転換が必要」という

内容にご門主が共感され、さら

に「いのちを大切にしないのは嘆かわしい」と説く僧侶がいることに、そんなことはわかっているのに、それでもなお、いのちを絶たなければならぬつらさに僧侶が向き合おうとしない」とおっしゃられたと記述されている。

向き合う努力を

今回の取材にあたって、脇本住職の純真さに触れたとき、私が住職に就任した時、門信徒の方々の前で誓った言葉を忘れていた。反省させられた。そして、諦め、言い訳を探している自分に気づくことが出来た。ともすれば体制を批判するだけとなり、私は何をしてきたかと、自らと向き合うことを忘れてしまう。「聞く仏教」とは「向きあう仏教」ではないだろうか。悩みを抱えている人々に向き合い、初心を忘れそうになる自分に向き合うということ。それを忘れての伝道は「新たな始まり」とはならないのではないか。



◀お礼を述べる脇本住職



◀バスを見送る門信徒



◀習志野布教所照光寺



◀習志野での遷座法要



◀御本尊が渡される



◀安置された御本尊



「ブログ」が社会問題化し逮捕者を出すまでになっている。宗教（仏教界）にも波及しつつある。そこで宗教社会学の研究をされ「メディアと宗教」を専門とされる、三次組専正寺副住職に続いて寄稿いただいた。

気軽なブログ：公開されるべきでない情報を流していませんか？

情報技術の普及と宗教への影響(下)

脚色された情報

ここまで2回にわたって情報化の進展が、宗教にどのような影響を与えるかについて概括してきました。ここでは、教団から公式に発信されるもの以外に、様々な情報が「浄土真宗」の冠下に管理を離れて流通しています。

例えば、各種の検索エンジンで「得度」をキーワードに検索を行うと、得度習礼を経験した僧侶のブログやホームページを見つかることができます。その中でも、あるホームページでは「10日間の精進料理がきつかった」と強調した記述がありました。いうまでもなく、得度習礼の食事はそのほとんどが肉や魚を使った通常のものであり、精

進ではありません。これは自身のホームページへの注目を引ききたいために脚色を加えた記述と想像されます。しかし、一般のインターネット利用者には、「得度＝精進料理」という誤った情報を与えることになっていきます。

宗門の一員である自覚を

また、多くのブログは私的な日記の延長上にあるため、本来は公開されるべきではない情報が不注意に掲載される場合もあります。大谷派の事例では、僧侶が他の宗教の形式で結婚式を行い、新婦との抱擁写真を掲載した事例があります。

本願寺派の住職によるものとしては、本願寺での研修会への粗野な批判を書き込んだブログや、宗教活動とは無縁の趣味のみを披露

したブログが存在します。さらに、坊守によるものとしては、家庭内でクリスマスパーティーの記述や、門徒、隣寺との付き合いに対する愚痴などもみられます。

20世紀の社会は、誰もが自由に情報を発信し、受信することのできる仕組みを理想のものとしてきました。インターネットはそうした社会が生み出した一つのゴールです。しかし、現在はその負の側面が目立つようになってきました。つまり、情報の氾濫です。我々は宗門の一員としてこの現状を自覚し、情報化社会に向かい合っていくかなくてはなりません。最後に、「浄土真宗の関係者としてブログを始める10の心がけ」を記してこの連載のまとめにしたいと思います。

1、浄土真宗に縁を頂くものとしての、宗門への敬意を忘れないように。信仰の対象である名号「南無阿弥陀」や、僧侶の権威を侮辱するような記述は避けましょう。
2、他宗への敬意と賛意を取り違えるな。他宗の活動にかかわることは、その宗教への賛意と理解されかねません。特に家庭内での「クリスマス」や「節分」などは年中行事としても、み教えと相対するものであることを留意しましょう。
3、み教えの解釈は積極的に、また他人の意見にも耳を傾ける。インターネットの価値は、あなた自身の意見が多くの人に発信できる点にあります。しかし身近な人の意見も常に取り入れ、「浄土真宗」のウェブサイトを問題がないように発信しましょう。
4、法話への感想は、あなたも講師と対面している気持ちで。インターネット上での批評は、対象者が見えないため過激になりがちです。常に講師の存在を意識して、対面上の関係に影響がない範囲での記述をしましょう。
5、匿名でのブログ運営は不可能です。記述や写真の端々から、あなたが誰であるかは判明します。仮に浄土真宗の関係者であることを隠しても、縁故の読者にはそれが伝わります。そのことを意識して記述しましょう。

坊守探訪

VOL.26

沼隈南組 南禅坊

高階千保子 坊守



今回お訪ねしたのは、沼隈南組南禅坊・高階千保子坊守さんです。南禅坊さんのある柄の浦は古代より潮待ちの港として栄えた歴史ある町で、最近では宮崎駿監督の「崖の上のポニョ」のモデルとなった場所としても話題になりました。歴史を感じさせる細い路地を進んで行くと、安土桃山時代の頃の建立といわれる立派な2階建ての山門が見えてきます。(聞き手||立神多恵香委員、長裕美委員 写真||山下瑞円委員)

浄土真宗をもっと知りたくて

立神多恵香委員 こんにちは。

よろしくお願ひします。早速ですが、坊守さんはこちらに来られてどれくらい経たれますか。

高階千保子坊守 6年目です。

委員 ご住職さんとの出会いはどうでしたか。

坊守 私は結婚する前は銀行に勤めていたのですが、先輩の紹介で就職と知り合いました。

委員 お寺の人というのは抵抗無かったですか。

坊守 抵抗はありました。今まで法事・葬式以外でお寺の方とお会いた事がなかったため、不安だったし、とても緊張してました。でも話しをしているうちにとても優しい方だったし、浄土真宗の教えにも惹かれるところもありました。

委員 そうなんですか。浄土真宗のどんな所に魅力を感じられたのでしょうか。

坊守 はつきりとは言えませんが、今まで気付かなかったいろんな事に気付かされると言うか、

(前頁より続く)

6、あらゆる読者を想定して配慮のある記述を心がける。インターネットに公開する限りは、あらゆる読者が訪問する可能性があります。読者に不快な思いをさせない記述を心がけるべきです。特に、門信徒についての意見は慎重に。

7、他のサイトへのリンクは、有効かつ慎重に。興味深いサイトへのリンクを掲載することは、情報発信の幅を広げ非常に有効です。しかし、一見問題はなくても、実際はカルトのウェブサイトなども存在します。それらとリンクすることで、賛同を表すことになりかねないため注意しましょう。

8、アクセス数にとらわれず、情報発信の目的を明確に。アクセス数に執着すると、時事問題や過激な内容ばかりを扱うようになり、情報発信の手段が目的化してしまいます。誰に何を発信しようとしているのか、常に確認しましょう。

9、実名や写真の掲載には配慮を。行事などを紹介した場合、参加者が写真に写ってしまうことがあります。人物がわかる実名や写真は、インターネットに掲載することをはっきりと伝える配慮をしましょう。

10、日常の寺院・宗教活動を大切に。ネットでの情報発信は、日常の寺院活動に付随するものです。法座や聴聞を大切にすることで、自ずと発信すべき情報は生まれてきます。

もつと知りたいという思いがわいてきましたね。それで、前坊守の勧めもあつて結婚する前に一年間京都の中央仏教学院(中仏)で勉強させてもらいました。

委員 銀行員から中仏へ、がらりと変わった世界に飛び込まれてどうでしたか。

坊守 慣れない寮生活で何か言われても言葉の意味も、物の名前もわからないし最初は大変でした。でも卒業する頃には、まだ帰りたくないと思うほど楽しかったです。

世代交代が課題

委員 それは良く頑張られましたね。では実際に結婚されてお寺の中に入って、大変な部分ってどこでしょう。

坊守 やはり、留守が出来ない。外出できない。というところ。以前は仕事仲間とランチしたり友だちと出かけたりしていたのが、今は全然ないですね。

委員 そうですか、それは寂しいですね。どこのお寺も若坊守さんが家を空けて楽しむことが難しいようですが、たまには息抜きも欲しいですね。自坊で婦人会の

お寺は世代を超え 出会える場所

活動は何かされていますか。

坊守 単位としての登録はありませんが、報恩講のお齋を作つて下さったり、お寺のお手伝いをして下さったりする「小桜会(こざくらかい)」という会があります。

その会で隔年で日帰り、一泊の旅行をしています。でもその会もだんだん高齢化してきて世代交代というのが難しい課題です。

中には役員の方もあって70歳になつたら誰か若い方と交代してもらおう。というのをされているお寺もあると聞いたことがあります。

委員 そうですよ、どこのお寺も役員さんの高齢化というのが悩みの種ですよ。他にお寺としての行事はありますか。

坊守 永代経と、春秋の彼岸会、定例布教、これは前住職の案で必ず毎月行うのは難しいと言ふ事で、常例の常の字を定にかえて行っています。あとは、輓の真宗寺院3ヶ寺持ち回りで言う「お内仏報恩講」という行事があります。

委員 お内仏報恩講というのは初めて聞きました。珍しいですね。珍しいといえば、こちらのお寺では、琴の追弔法要をされていますか。

坊守 宮城道雄さんとご縁があるという事で以前は行っていました。が、今はしていません。

委員 そうですか。先程お寺に来て大変だった事を伺いましたが逆に良かった事って何でしょう。

坊守 そうですね、世代を超えたいろんな人と出会う事ができることでしょうか。

趣味を生かして

委員 坊守さんの趣味は何かありますか。

坊守 私はパステルアートⅡ写真をやっています。クレヨンで粉にして指



やコットンで描く絵の事で誰でも簡単に出来るんですよ。
委員 パステル

アートってあまり知らないですが面白そうですね。

坊守 そうなんです。今は法座の後に念珠づくりをしています。が、教室に通つてパステルアートのインストラクターの資格もとつたので、今度はみんなでパステルアートにも挑戦してみたいです。

委員 それは素晴らしいですね。最後にこれからの抱負を聞かせて下さい。

坊守 もつと若い人が気軽に集まれるお寺になれば良いと思つているので、どうしたらそんなお寺作りができるか、その為の一つの方法としてパステルアートが役にたてば良いと思います。

委員 そうですね。機会があれば私たちにも教えて下さい。今日はありがとうございました。

〈取材を終えて〉

若坊守さんの頑張っておられる姿に、私たちもそうだったよね。と、ずっと以前の自分たちの姿を懐かしく思い出しました。まだまだ負けてはいられない、頑張らなくては、力を頂いた取材でした。

& 活動情報

News
報告

新見教堂解散法要を勤修

【本願寺新見教堂】6月30日(火)に、本願寺新見教堂解散法要が、宮川宏生備後教区教務所長導師のもと、前門信徒、近隣の住民等、関係者が参拝し左下写真し勤修された。

本願寺新見教堂の歴史は、明治12年8月に、奥組淨福寺第13代山下教円住職が、当時真宗寺院のな



▲ 歴史を閉じた新見教堂

かった現在の新見市へ、説教所を開設したことを起源とする。以来、数十年に渡り、お念仏の道場としての役割を果たしたが、大正4年に法務員が不在となり、次第に門信徒の離散が進んでいった。本願寺の教堂となった後も、時代の変遷、建物の老朽化、過疎・高齢化の流れの中で、教堂の維持、管理が困難になっていった。数十年前より幾度となく行われた協議の結果、このたびの解散に至った。

解散法要では、現淨福寺山下義円住職が、本願寺新見教堂の歴史、祖父にあたる第14代篤円師から聞かれた教堂への布教の思い、関係者の方へのお礼を述べられた後、二つの役割を終え、新見の地から本願寺の教堂はなくなるが、新

◀ 法話をする山下義円住職



見の地にお念仏のみ教えが少なからず伝わり、根付いた最初の役割を果たしたのが、本願寺新見教堂ではなかるうか。」と法話された。

現在残っている本堂は、老朽化のため解体され、更地として整備する予定。

お知らせ

このたび解散となった新見教堂の仏具は左写真をお譲りいたします。ご希望の方は8月22日までに教務所にご連絡下さい。ご希望の仏具が重複した時は抽選といたします。詳細につきましては教務所までお問い合わせ下さい。



教区月報

(敬称略)

5月	7日	5月	19日	19日	13日	13日	11日	8日	7日	5月															
ブロック少年連盟	連絡協議会(8日まで)	基推委小委員会	会館常例法座(是山宗憲)	寺婦連盟役員会	布教団副団長会議	布教団記念事業企画会議	広島同宗連役員会・総会・研修会(安芸)	キッズサンガ推進委員会	勤式練習会	基推委総会	門徒総代会世話人会	勤式練習会	中・四国議長・所長	合同会議(安芸)	同期三者懇	同朋部会	人権啓発講座(尾道公会堂)	寺婦連盟総会・研修会	同朋三者懇	(福山人権センター)	広報・伝道部会	矯正教化協議会	会館常例法座(山本耕嗣)	寺婦連盟三役会	ブロック仏婦連盟

独自にお待ち受け布教大会
6名が受講し17名がお聴聞



【布教団】第1
回「親鸞聖人
七百五十回大遠

忌法要」お待ち受け布教大会が6月20日、本願寺備後会館で開かれた。本講には教学伝道センターの上山大峻・前所長Ⅱ右写真を迎え5人の教区布教団員が出講。約百七十人のお同行が聴聞に訪れ、それぞれの「説教」に法悦歓喜していた。

この布教大会は布教団が大遠忌を迎えるに当たって立ち上げた「親鸞聖人七百五十回大遠忌記念プロジェクト」の「布教研鑽・実演部門」の一事業で、来年に2回目の布教大会を予定している。また、プロジェクトでは「現代布教対応部門」も立ち上げており、現代社会へ向けての広範な布教活動を目指している。

教区布教団員の出講者は次の通り(出講順・敬称略)。

北山祐章(沼隈南光源寺)▽法正良映(世羅円超寺)▽平山智正(深津光円寺)▽季平博昭(御調東法光寺)▽山下義円(奥浄福寺)。

青年布教使大会

去る7月16日(木)世羅組善仁寺(原英順住職)において青年布教使の会(以下青年の会)による布教実演Ⅱ左写真が開かれた。60名を超える門信徒の参拝があり、4名の青年布教使、そして副団長、青年代表によるまとめ布教を聴聞された。実演終了後、副団長を中心とした講評の場が設けられ、実演者は真剣な面持ちで指導を仰いでいた。青年の会発足後、今回で3回目を向かえる布教実演。この

たびも多く門信徒にお育ていただいた実演となった。出講者は次の通り(実演者のみ・敬称略)馬屋原晃准(神石教西寺)、法宗正勝(三谿明玄寺)、長谷川憲章(三谿善徳寺)、田井智彦(備中里蓮乗寺)



馬屋原晃准(神石教西寺)、法宗正勝(三谿明玄寺)、長谷川憲章(三谿善徳寺)、田井智彦(備中里蓮乗寺)

勤式推進員協議会、研修会

【勤式】6月26日午後1時より勤式推進員が協議会を行い、午後2時から教区勤式研修会を開催。講師は本願寺式務部の山本英信師をお招きし、宗祖讃仰作法について研鑽を深めた。参加者は32名。正しい勤式・作法の普及を目指すとともに、親鸞聖人750回大遠忌法要に向け、各組でのお待ち受け法要及び各寺院での大遠忌法要厳修を推進していく。

お寺で子育てセミナー

【仏婦】6月28日(日)仏婦・若婦人専門委員会「ほほえみの会」(小柳委員長)主催による子育てセミナーが三次組法正寺を会場として開催された。

藤本明美先生(京都子育て支援コミュニティワーカー)指導のもと、子育てワークショップが行われ、子どもを持つ親たちが参加。研修を受けている間、仏婦役員やおもちゃサロンの方たちが子守のお手伝いをして下さった。参加者からは「同じ悩みや苦労を持った人たちと話ができ、とても励みになった」との声があった。

16日	連絡協議会(16日まで)
16日	門徒推進員世話人会
16日	基推委常任委員会
17日	第4連区布教使研修会(山口18日まで)
18日	会館責役総代会
19日	布教団総会・研修会
20日	お待ち受け布教大会
21日	若婦人専門委員会
22日	ブロック少年連盟指導者研修会(山口23日まで)
22日	岡山同宗連研修会
23日	仏婦役員研修会
23日	矯正教化管区(24日まで)
26日	前期勤式研修会
28日	お寺で子育てセミナー
30日	大遠忌団参会議(本山)
30日	新見教堂解散法要
7月	同朋部会
3日	同朋部会
6日	ビハーク総会・公開講座
6日	広島市における法要行事
7日	実行委員会(安芸)
7日	広報・伝道部会
8日	勤式練習会
10日	同朋講座
11日	ビハーク代表者会
11日	会館常例法座(平山義隆)

予報—インフォメーション



●お寺の子どものつどい

日時 8月20日(木)～21日(金)
 今年もお寺の子どものつどいを開催いたします。研修会場は四州教区の塩屋別院。その後、昨年好評だった徳島県吉野川でのラフティングに挑戦し宿泊。翌日は讃岐うどんの手打ち体験を行います。
 お申込みをお待ちしています。

●平和のつどい

ー全戦争犠牲者を偲んでー
 日時 9月29日(火)
 午後1時～
 会場 成羽総合福祉センター
 講師 林力先生
 九州大学講師
 N G O 横浜国際人権センター理事



●親鸞聖人750回大遠忌

ー中国ブロック記念事業ー
 「広島市における法要行事」
 ・交響讃歌「親鸞」を聞く夕べ
 日時 10月9日(金)
 P M 5時開場
 会場 A L S O Kホール
 演奏 相愛オーケストラ
 崇徳グリーンクラブ
 ・シンポジウム
 宇宙の果てから見たもの
 日時 10月17日(土) P M 1時
 会場 広島別院
 講師 日本人宇宙飛行士第1号
 秋山豊寛さん

●仏壮夏期研修会

日時 8月30日(日)
 会場 御調西組法泉寺
 講師 高橋哲了先生

●僧侶研修会

日時 平成22年2月10日(水)
 会場 本願寺備後会館
 講師 今井雅晴先生
 筑波大学名誉教授

●750(ナナハン)西遊記

時期 11月
 本山の常夜灯をお分け頂いてお寺やご家庭にお届けします。
 ・親鸞さまとであう集い
 日時 平成22年3月3日
 会場 広島国際会議場
 フェニックスホール
 ・創作劇
 善人なおもて往生をとぐ
 ーわが心のアジャセー
 日時 平成22年
 3月4日・5日・6日
 会場 A L S O Kホール
 配役 川崎麻世、音無美紀子、中山仁他

お寺の風景

合理化の流れの中で



2003年末、存続の願い届かず廃線となった可部線(可部ー三段峡)の三段峡駅近くの安芸教区山県太田組西善寺(正山幸夫住職)である。境内前には、自然豊かな風景が広がる。右手を見ると土手があり、トンネルが見える。登ってみると、レールも撤去され草が生い茂っている。トンネルは酒蔵の貯蔵庫になるそう。廃線後、観光客の数は減った。

14日	少年連盟総会
14日	キッズサンガ公開講座
16日	青年布教使大会 (世羅組善仁寺)
22日	教区報専門委員会 組長会
23日	全国保育大会 (鹿児島26日まで)
25日	
27日	仏婦連盟役員会
27日	ブロックまことの保育 大学講座(山口30日まで)
29日	

是山恵覚和上没後80年記念行事のご案内

是山恵覚和上没後80年を縁として展覧会、記念講演を下記の通り開催いたします。初めての展示会です。ぜひお越しください。

世羅組真行寺住職 是山宗憲



会館常例法座出講者

- 8月 川上順之 (敬称略) (神石組法泉寺)
- 9月 栗原一乗 (世羅組浄楽寺)
- 10月 小武秀道 (三谿組正法寺)

○是山恵覚和上展覧会

場 所 大田庄歴史館

世羅町甲山159

(TEL084712214646)

今高野山の参道入り口・町営

駐車場徒歩三分

開催日

10月16日(金)～25日(日)

※ただし、10月19日(月)20日

(火)22日(木)は休館日です。

時間 朝10より17時

○恵覚和上八十回忌記念講演会

場 所 世羅組 真行寺

世羅町寺町1490

(TEL084712210395)

開催日 10月25日午後1時より

講師 水原史雄 先生

『安芸門徒』の著者

展示物 是山恵覚和上ゆかりの

品、三十点余り展示

主催 真行寺

後援 世羅町教育委員会

予報ーインフォメーション

今後の予定

8月

- 8日 全国真宗青年のつどい (富山 9日まで)
- 11日 会館常例法座 (川上順之師)
- 12日 会館休館日 (16日まで)
- 19日 門推実習 (ビハーラ花の里)
- 20日 お寺の子どものつどい (四国 21日まで)
- 26日 布教団研修旅行 (屋久島 28日まで)
- 29日 仏壮連盟夏期研修会 (御調西組法泉寺)

9月

- 1日 門信徒部会
- 7日 常備会
- 8日 勤式練習会
- 8日 第4連区ビハーラ集会 (安芸 9日まで)
- 11日 会館常例法座 (栗原一乗師)
- 14日 連研のための研究会
- 25日 寺婦連盟勉強会

- 29日 全国寺族青年軟式野球大会 (京都 30日まで)
- 29日 平和のつどい (成羽総合福祉センター)
- 30日 寺婦連盟研修旅行 (1日まで)
- 10月
- 5日 同朋三者懇 (安芸)
- 6日 連区青年布教使研修会 (四州 7日まで)
- 8日 仏婦連盟基幹運動研修会
- 10日 仏壮連盟結成大会 (本山)
- 11日 会館常例法座 (小武秀道師)
- 15日 勤式練習会
- 17日 ブロック真宗青年のつどい (安芸 18日まで)
- 24日 中四国仏婦(若婦)大会 (御調東組照源寺 25日まで)
- 27日 ビハーラ活動団体協議会 (三次)
- 29日 秋期勤式研修会

備龍会人事

任期満了に伴い次の通り執行部が決定されました。

- 会長 脇本寿真 (世羅照光寺)
- 副会長 高階百壽 (沼隈南南禅坊)
- 熊原得也 (神石正善寺)
- 杉原秀晃 (神石金蔵寺)
- 事務局 竹政信至 (鴨川正覚寺)
- 会計 山下瑞円 (奥浄福寺)

デジタルテレビ寄贈の報告

備後会館ロビーのテレビ老朽化に伴い、備龍会よりデジタルテレビを寄贈いただいた。ありがとうございました。



レディオ

Radio BINGO

お坊さんステーション

FMびんご 77.7MHz

毎週 月曜日&木曜日

午後6時10分頃

得度許可

おめでとうございます

- 備中里組 高運寺 塩田 智慧 (智慧)
- 芦田組 明浄寺 立神 智弘 (智弘)
- 世羅組 明善寺 長岡 健翔 (顕彰)
- (平成21年2月27日付)
- 三次組 浄伝寺 福万 裕子 (裕香)
- 御調束組 正典坊 近安 徹 (徹信)
- (平成21年3月15日付)
- 備中里組 正専寺 山岸 幸夫 (幸信)

[敬称略]

世羅組 西教寺

- 曾我 彩音 (彩音)
- (平成21年5月15日付)

教師授与

おめでとうございます

- 深津組 誓蓮寺 武 史也 (休也)
- 神石組 光徳寺 相 俊道 (俊道)
- 三谿組 立泉寺 一條 和真 (和真)
- 世羅組 正満寺 島津 慧 (惠航)
- (平成21年3月31日付)
- 中 組 徳善寺 後谷 唯明 (唯明)
- 世羅組 善仁寺 松浦怜子 (瑞華)
- (平成21年4月21日付)
- 世羅組 浄楽寺 前坊守 栗原 昌子 (6月7日叙)

敬申

お悔やみ申し上げます

[敬称略]

香典返礼

ありがとうございます

世羅組 浄楽寺様

よりの香典返礼を頂きました



今年の夏も暑くなりそうである。気温もそうであるが、麻生総理大臣が衆議院を解散し、投票票を8月30日の日程で実施する▽振り返れば4年前の流行語大賞は“小泉劇場”“想定内”であった。郵政解散を実施し自民党は圧勝した。“想定内”の流行語大賞をとったホリエモンは広島選挙区から出馬し注目を浴びた▽あれから4年。世間は目まぐるしく移り変わっていく：ように見えるが本当に変わっているのだろうか。目新しさには躍らされ本当に変わらなければならぬ部分がある。▽私はもうすでに夏バテである。(T-T)

(K・K)